



第38 回広島県小児保健研究会
プログラム・抄録集



日時:平成25年11月23日(土) 13:00~15:30

場所:広島市中区基町7-33 広島市民病院10階講堂



第 38 回広島県小児保健研究会プログラム

13:00～13:05 開会の挨拶 広島県小児保健研究会 会長 香西 克之

13:05～13:45 基調講演 座長 広島県小児保健研究会 会長 香西 克之

「当事者研究の可能性」

東京大学先端科学技術研究センター 特任講師, 小児科医
熊谷 晋一郎

13:45～14:25 教育講演Ⅰ 座長 広島県小児保健研究会 運営委員 七木田 方美

「発達障害の当事者による研究」

東京大学先端科学技術研究センター 特任研究員
綾屋 紗月

14:25～15:05 教育講演Ⅱ 座長 広島県小児保健研究会 会長 香西 克之

「それは無理です -脳機能局在論から考える言語性学習障害-」

県立広島病院 小児感覚器科 主任部長
益田 慎

15:05～15:25 質疑応答

15:25～15:30 閉会の挨拶 広島県小児保健研究会 副会長 祖父江 育子

*会員年会費(年2回の研究会参加費含む) 3,000 円, 一般参加費 2,000 円(学生無料)

基調講演

「当事者研究の可能性」

東京大学先端科学技術研究センター特任講師，小児科医

熊谷 晋一郎

教育講演 I

「発達障害の当事者による研究」

東京大学先端科学技術研究センター 特任研究員

綾屋 紗月

当事者研究の可能性

熊谷 晋一郎：東京大学先端科学技術研究センター特任講師

発達障害の当事者による研究

綾屋 紗月：東京大学先端科学技術研究センター特任研究員

障害を持つ当事者が、日常生活の中でどのような経験をしているのかという一人称的な記述は、理論的にも、具体的な支援の実践を考える上でも重要である。当事者研究とは、当事者本人が、類似した仲間との **explicit, implicit** なメンタライジング (Frith, 2012) を媒介に、自分の主観的体験について記述・理論化しようとする実践である (綾屋, 2013)。

もともと当事者研究は、精神障害者の自助実践の中から生まれた方法論であり (向谷地, 2008)、研究という態度で自分の困難な体験に向き合うという **mindset** 自体が、ある種の回復効果をもたらすのではないかという点にも注目が集まっている (伊藤・向谷地, 2007)。

ではなぜ、研究することが回復をもたらすのか。熊谷の発表では、研究という営みを定義する真理論の伝統的議論と、自伝的知識や自伝的記憶に関する病理学的研究 (Conway, 2005) を関連付け、「自己経験についての真なる知識を求める研究=回復」を目指す実践としての当事者研究の理論化 (熊谷, 2013) について述べるとともに、回復効果の検証 (熊谷, 2013) に触れる。

綾屋の発表では、具体的な当事者研究の成果として、自閉症スペクトラムにおける「まとめあげ困難仮説」 (綾屋・熊谷, 2008) と、その検証実験の一部を紹介する。また、発達障害者の特性に合ったファシリテーションについての、方法論的検討 (綾屋・浦野, 2013) を紹介する。

Memo

教育講演Ⅱ

「それは無理です

-脳機能局在論から考える言語性学習障害-

県立広島病院 小児感覚器科 主任部長

益田 慎

神経心理学

- 言語操作を心理学的に分析し、それを脳の局所機能で説明しようとする学問
- 脳梗塞が同じような場所で発生すると人が違っても同じ言語症状になる
 - MRIの出現で急速に発達した学問

それでも神経心理学から言語症状を考える

- 決して学習をサボっているわけではないことを証明する
- できないことはどうやってもできないことを証明する
- 障害の予後を予測して代償手段がないかを考える (De-Blocking)

Dyspraxia with DCD

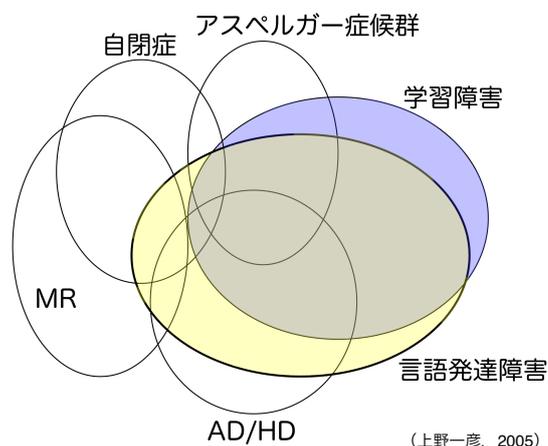
- Broca野付近の機能低下
- うまくしゃべれない・書けない
 - しゃべるたびに発語様式が変わる
 - 書くたびに違う図形になる
 - 文法障害により作文ができない
- かなりの不器用・リズム感が悪い
- アスペルガー障害との鑑別は難しい
- 注意が低下していることが多い

発達途上の子どもを神経心理学で考える難しさ

- できないことを評価するさいにできる条件が整っていないのか、できないのか
 - 平仮名を書くための能力が整うのは5歳2か月
 - しりとりができるのは5歳6か月
- できない神経回路を代償する神経回路は本当にないのか

Dyspraxia with DCD

- Dyspraxia : 発語困難症
 - 発声ができないわけではないが、発語のための脳内プログラムが作られにくい状態
- DCD : Developmental Co-ordinate Disorder (発達性協調運動障害)

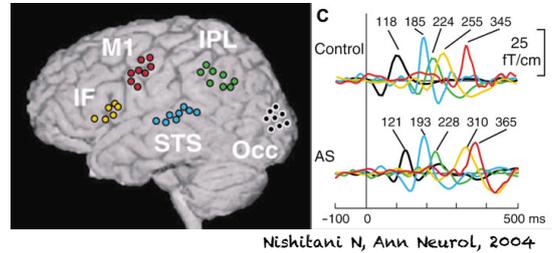


それでも検査はする

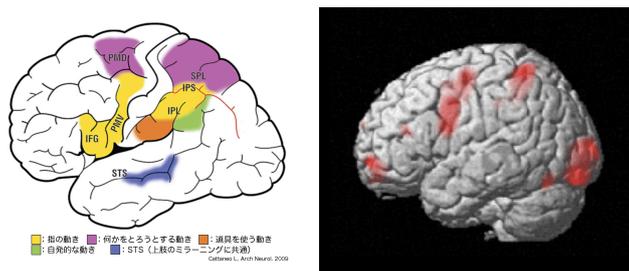
- 適切なしゃべりができないという点では同じ
- 上手にしゃべるための方略は違う
 - Dyspraxia；発音の練習、文法のトレーニング
 - ASD；類似課題による語彙の整理、比喻文・皮肉文の練習、etc

Mirror Neuron Systemと自閉スペクトラム

- 物まねができない
- ごっこ遊びができない
- 顔の表情を作りにくい



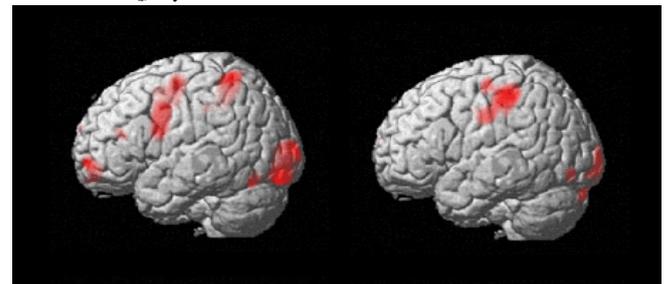
Mirror Neuronの抽出



ASDとの比較

Dyspraxia

ASD



読めるのに書けない

- Dyspraxia with DCD
 - 不器用で意図する図形が書けない
- 発達性ゲルストマン症候群
- (視知覚発達障碍)

発達性ゲルストマン症候群

- 左右失認
 - 手指失認
 - 失書
 - 失計算
 - 身体イメージの低下
 - 構音障碍・不器用
 - 幼稚な振る舞い
 - 空気を読まない
- 古典的な四徴
(全ての徴候がそろえることが珍しい)
- 他の頭頂葉症状
(Miller & Hynd, 2004)

聞こえているのに聴いていない

- 作業記憶の低下
 - ボーっとしている、ミスが多い
- 音韻意識の低下
 - 発音が悪い、言葉が遅い
- 聴覚情報処理の低下
 - 音は聞こえるけど言葉はわからない

作業記憶とは？

- 相手の言うことを理解しようとする相手の言うことを「○○が△△して、□□が××した。」という文章をいったん覚えなければならない。
- 理解して、要点を頭に入れたら理解するために憶えた文章は忘れる。
- 1分前に言ったことを忠実に再生できないが、どのような内容であったかはわかる

作業記憶が弱いと・・・

- 一度にたくさんの作業ができない
- ぼかミスが増える
- 聞こえても聴いていない
- 見ているけど見ていない
 - 見返すことができる視覚情報の方が入りやすい
 - 小学生以上は文字情報が重要
 - どこに情報があるか忘れたら同じ

作業記憶は・・・

- 作業記憶の容量は生まれつき決まっています、増やすことはできない。
- 作業記憶の使い方を鍛えることはできる
 - トレーニングによって見かけ上の作業記憶は増える
 - トレーニングをやめるとすぐに落ちる

「雪だるま」と言われて

● ゆ	● き	だ	る	ま
● う	● い	あ	ー	ま
● ゆ	● う	だ	ー	ま
● ゆ	● ち	あ	う	ま

音韻意識障害

- 「ことばの音痴」
- 言葉を聞くたびに違って聞こえる
 - 発音が安定しない（音韻性錯語）
 - 語彙の獲得が遅れる
 - 平仮名の読みの習得が遅れる
- ◆ 聞こえているけどわからない
- 視認知が同時に障害されることが多い
- 日本と欧米では微妙に状態が違う？

聴覚情報処理障害：APD

Auditory Processing Disorder

- 👤 難聴はないか、あっても軽度
- 👤 音は聞こえるが言葉は聴き取れない
 - 👤 機能性難聴との区別が重要
- 👤 言葉の遅れで受診し、獲得語彙が少ないことで気づかれることが多い。
- 👤 APDに見える人は4%
 - 👤 本物は0.1%、残りはAD/HD
 - 👤 AD/HDの言語発達の遅れはAPDに類似する

読字困難のある子の学校へのお願い

- 👤 文字から得られる情報は限られる
 - ☑ 部分的にしか読めないのが不正確
 - ☑ 文字列に意味を持たせるために時間をください
 - ☑ 文字を書くことはできません
 - ◆ 板書はできませんし、しません
 - ◆ ジッと聴くことを許してください
 - 👤 聴くこと自体が弱い子も多いので、その点もご配慮ください
 - ☑ 試験は口頭試問でお願いします

Dyspraxia with DCDの子の学校へのお願い

- 👤 ワードプロを使わせてください
 - ☑ 文法の習得には作文が必要だが、字を書くことがきらいなので作文をしない
 - ◆ 書き間違いは多いし、書いた字が自分でも読めないで、消しゴムを使うたびに本当に心が折れます
- 👤 字を書かなければいけないのであれば
 - ☑ 時間がかかっても良いから丁寧に書く vs 雑でも良いから速く書く

聞こえているのに聴いていない

- 👤 作業記憶の低下
 - 👤 作業記憶や文字のトレーニング
- 👤 音韻意識の低下
 - 👤 発音の練習から文字のトレーニング
- 👤 聴覚情報処理の低下
 - 👤 近づく、FM補聴システムの活用
 - 👤 言語発達は音韻意識障害に類似

発達性ゲルストマン症候群の子の学校へのお願い

- 👤 ワードプロや計算機を使わせてください
 - ☑ 作文を書くことが課題なのか vs 字を書くことが課題なのか
 - ☑ 問題を解くことが課題なのか vs 計算をすることが課題なのか
- 👤 頭頂葉の問題なので情報をまとめる（思考を進める）ことも課題

言語性学習障害などの発達障害は先天性です。

- 👤 本人が努力できることと努力してもどうしようもできないことがあります。
 - 👤 車いすの子に「自分の足で100mを全速力で走れ！」
 - 👤 音韻意識障害の子に「きちんと音読をしる！」
 - 👤 ゲルストマン症候群の子に「きれいな字を書きなさい！」
- 👤 努力をしなくても良いというのは間違い
 - 👤 どこかに限界はある
 - 👤 De-Blocking：実行可能な方法で学習をさせてほしい
- 👤 育てにくい、学校に適應しにくい、のは当然
 - 👤 根本的な治療は困難であることが多い
 - 👤 二次障害を最小限に食い止めるにはどうしたら良い？

Memo

会員募集のご案内

広島県小児保健研究会は、小児保健に関する実践と研究を促進し、会員相互の研鑽、連絡および親睦を目的とし活動しております。年2回の研究会を開催するとともに、年2回ニュースレターを発行し活動成果を会員と共有しております。

会員は、小児保健に携わっている専門職者（小児科医、歯科医、看護職者、リハビリテーション関連職者、保育士、幼稚園教諭、養護教諭、小・中学校教諭、心理士、行政関係者 等）で構成されています。

特に小児領域では少子化対策、児童虐待の問題、発達障害児への支援など多くの難題を抱えています。多職種それぞれのエキスパートが集積し、意見を持ち寄り情報を共有する本研究会に参加してみませんか。本研究会の活動にご賛同いただきましたら、ご入会いただきますようお願い申し上げます。

広島県小児保健研究会 会長
香西 克之



会員募集中

【入会手続き】
入会届(別紙)
送付先:事務局メール(E-mail:pedns@hiroshima-u.ac.jp)
またはFAX(082-257-5378)

*なお、後日確認のご連絡をさせていただきます。

【年会費(3,000円)納入手続き】
以下のゆうちょ銀行口座へお振込みください。
ゆうちょ銀行口座番号(記号:15140 番号:33900301)
口座名義:広島小児保健学会(ヒロシマショウニホケンガツカイ)

広島県小児保健研究会入会届

申し込年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____

	姓	名
ふりがな		
氏名		
連絡先	1. 勤務先	2. 自宅

ご所属			
ご所属住所	〒		
ご所属電話番号	TEL.		FAX.
E-mail			
ご自宅住所	〒		
ご自宅電話番号	TEL.		FAX.
E-mail			

職種			
医師(小児科, _____) 歯科医師(小児歯科, 他) 看護職(保健師, 助産師, 看護師, 准看護師) 理学療法士 作業療法士 言語聴覚士 歯科衛生士 臨床心理士 養護教諭 保育士・幼稚園教諭 小・中・高等学校教諭 栄養士 その他(_____)			



連絡先：広島県小児保健研究会事務局竹中和子宛
〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 広島大学大学院医歯薬保健学研究院
TEL・FAX 082-257-5378 E-mail: pedns@hiroshima-u.ac.jp
TEL 082-257-5370 FAX 082-257-5374
<http://home.hiroshima-u.ac.jp/pedns/reserve.html>